

合同ゼミの感想と反省

石川・岩壁・高橋・松田

○準備に関する感想と反省

まず感想ですが、みんなそれぞれに就職活動やサークル活動など、忙しいのにも関わらず授業以外にも時間をみつけ、積極的に集まれた事、とてもよかったと思います。しかし、集まって仕事を分担したのはよかったものの、いざまとめる段階で、お互いにお互いの内容の理解が深まっていないせいもあり、当日まで不安の残る出来になってしまいました。

それをふまえての反省になりますが、私たちは「ふるさと納税」の基本である、システム面での調査、グループ内での話し合いが足りなかった、という点です。「ふるさと納税」に対して、反対という立場を取るに当たり、ふるさと納税という税制に対する理解をもっと深めるべきだったと感じました。

○当日の報告内容とそれに対する質疑の概要

先ほど準備段階での反省点でも述べたように、私たちは基本となる「ふるさと納税」に対する基本的な知識をもっと勉強、調査し、グループ内で話し合うべきでした。

具体的に言うと、「ふるさと納税」がどういうシステムであり、実行された場合どういった効果が出て、具体的にどれだけの税収が見込めるか、などです。私達の準備不足のせいで、反対の立場の意見を言う際に明確に否定が出来なかったと感じました。「ふるさと納税」を行わない場合のデメリット・メリット、この政策に代わる案をもう少し具体的かつ、良い案を出せていれば、もっと良かったかと思えます。実際、「ふるさと納税」に代わる良い案を出せなかった私たちは、この政策を行った方が良いという相手の意見に対し、私達チームは明確な反論が出来ずに、相手のペースに巻き込まれてしまいました。

代替案を出した場合にも、どれだけのメリットがあるのかなどを具体的な数値であげ、それを質疑の場に出せば、もっとよかったと思います。

○合同ゼミにおける感想と反省

当日のプレゼンの反省としては、基本的なこととして、実際のプレゼンのシミュレーションをもっと綿密に行うべきだったと感じました。スライドの順番、スライドを動かすタイミング、パソコンを操作する人、実際にプレゼンを行う人以外の人もプレゼン内容をしっかりと把握しておくべきだったと思います。そういった事がもっとしっかりと出来ていれば、よりスムーズにプレゼンを行うことが出来たかなと反省しています。

最後に感想をまとめますと、準備をしっかりと行うという当たり前の結論にいたります。この、準備というのはプレゼンの進行のシミュレーションであったり、データの裏づけであったり、相手の反論予想など、考えられることはすべて用意しておくべきだったということです。

今回の合同ゼミで、至らなかった所、出来ていた所、を見つめ直し、これからの卒論や課題などに生かしていけたらと思います。合同ゼミという、普段はなかなか行いうことが出来ない経験と、今回の反省点を忘れず、しっかりとこれからの自分達に役立てていけたらと思います。

(文責者 松田)